

教科目名 制御工学 II (Control Theory II)

学科名・学年 : 電気電子工学科 5年 (教育プログラム 第2学年 科目)

単位数など : 選択 1単位 (後期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 本田久平

授業の概要			
<p>本科目では, 各種の制御システムの過渡応答特性や周波数特性を調べる方法を学ぶことにより, システムの解析・設計についての基礎を身に付ける. この講義を受けることによって, フィードバック制御の良さやシステム解析の基礎をより理解することができる.</p>			
達成目標と評価方法		大分高専目標(B2), JABEE 目標(d1)(g)	
<p>(1)これまで学んだ電気回路についての理解力を向上させる.(試験) (2)システムパラメータと応答との関係を理解する.(試験) (3)フィードバック制御系の利点を理解する.(試験) (4)制御系の過渡応答や周波数応答を調べ, 制御の良さや安定性を総合的に理解する.(試験)</p>			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2 3,4 5 6,7	第4章 フィードバック制御系の特性 4.1 感度特性 4.2 定常特性 4.3 根軌跡 第5章 周波数応答 5.1 周波数応答と伝達関数 5.2 ベクトル軌跡	フィードバック制御が制御対象の不確かさの影響を低減できることを理解する. 制御量が偏差なく目標値に追従するための条件を理解する. フィードバック制御系のパラメータと特性根との関係を理解する. システムのベクトル軌跡を描くことができる.	【理解の度合い】
8	中間試験		【試験の点数】 点
9 10 11 12,13 14	中間試験の解答と解説 5.3 ボード線図 5.4 ボード線図の性質 第6章 フィードバック制御系の安定性 6.1 フィードバック系の内部安定性 6.2 ナイキストの安定判別法 6.3 ゲイン余裕, 位相余裕	システムのボード線図を描くことができる. フィードバック制御系の安定条件を理解する. 安定性を図式的に判定するナイキストの安定判別法を理解する. 安定性の程度を評価するゲイン余裕や位相余裕といった概念を理解する.	【理解の度合い】
15	定期試験		【試験の点数】 点
	定期試験の解答と解説		
履修上の注意	講義の途中で分からなくなったらすぐに質問すること.		【総合達成度】
教科書	杉江俊治, 藤田政之「フィードバック制御入門」, コロナ社.		
参考図書			
関連科目	電気回路, 電気回路, 制御工学 I, システム制御理論(専攻科)		
総合評価	達成目標の(1)~(4)について, 2回の試験で評価する. 総合評価が60点以上を合格とする.		【総合評価】 点